

活動名	団体名	みんなの寺子屋
地域の子育て支援の為にフリースペース、ものづくり、遊びの企画、リズム遊びなどを実施	地域	広島県広島市
	代表者	代表 小林 純子
	支援金額	15万円
活動概要	<p>*障害の有無を超えて、広島市南区を中心に、地域の子育てをサポートするスペースを提供。</p> <p>*昔ながらの遊びと季節感を取り入れながら、仲間、保育士などの見守りの中で「物作り」「リズム遊び」「集団ゲーム」など遊びの中で、子ども自身の伸びる力を大切に、出会い、身体づくり、学び合いを育む。</p> <p>◆実施時期</p> <p>*2014年4月～2015年3月まで。毎月、第2・第4土曜日、13:00～17:00 13:30～受付開始 ・14:00～開催 ・15:00～おやつ&おしゃべりタイム 16:30～おかたづけ&終わりの会</p> <p>*会場;当初は南区南蟹屋町の善通寺で開催していましたが、9月以降、善通寺の都合が変わり、10月からは、近縁の公民館へ移動。二葉公民館を主に、段原公民館も利用。</p> <p>*8月末、安佐南区・安佐北区での土砂災害後、ボランティアの要望も有り、11月より安佐南区の古市公民館でも開催。</p> <p>◆参加人数</p> <p>*未満児0歳～小学6年生までの乳児・児童と保護者</p> <p>*0歳児は基本無料。参加者は2歳～6歳の乳幼児と小学校の低学年児童が多かった</p> <p>*初めて子育てする親子が殆どだった</p> <p>*児童総合相談センターで、発達障害の診断を受けた幼児も数名参加</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:28名</p>	



プログラム「チョコフォンデュを作って食べよう」



ともに活動するスタッフ、学生ボランティア



【みんなの寺子屋】活動風景

◆実施に伴う効果

- *発達をつまづきや、発達障害の有る子どもの参加も有った。
- *初めての子育て家族の参加も多く、子どもの成長過程で起る些細な事も若い親世代には悩みになる様子で、【みんなの寺子屋】に参加して、課題が達成できて、安心する方も有ったように思う。
- *大学生や専門学校生のボランティアが参加してくれた。安佐南区、安佐北区での土砂災害に関わったボランティアの参加も有り、1月11日には、プログラム企画外だったが、八木地区のとんど祭りに、子どもの遊びのコーナーを出せた(無料で遊びを提供)。
- *facebook に【みんなの寺子屋】団体のページを作った。初めはアクセスが少なかったが、子どもの病気への対処や、乳幼児の遊びの提案、思春期の子どもの問題と原因(イラスト付き)などを載せたことで、一気にページへのアクセスが増え、3月には110人を超えるアクセスが得られるようになった。

◆苦勞した点

- *外部へのPR用にポスターやビラを作り、公民館や、福祉センター、区役所の子育て支援団体紹介コーナーなどに掲示・ビラは、プログラム内容が変わる3か月単位で制作し、毎回1000枚を配布。
- *ボランティア募集ポスターも、県立大学、NHK大学、福祉専門学校、国際大学、女学院に掲示。
- *障害児関係の育成団体にもコンタクトは取れたが、団体同士の連携はまだできていない。
- *心身障害者福祉センターや、中央と西部の療育センターにはビラとポスターを掲示。
- *出島の特別支援学校と国立東雲小学校にも配布。
- *毎回2週間～10日前までに、広島県子育てポータルサイト・イクちゃんネットに、イベントを投稿した。初めの3～4回は参加申し込みが多かったが、申し込み後のキャンセルも多かった。
- *イクちゃんネットのメールマガジンに掲載された時は、必ず参加者が有ったが、それ以外の時は参加者が少なく、PR方法に大きな課題が残った。
- *当初、善通寺を会場にしていたが、地域の町内会の反応は殆ど無かった。町内会長の理解が有り、子ども会を紹介していただいたが、共働き世帯が多いためか?協力は難しいとの返事だった。
- *9月初旬に突然、善通寺より会場を変更してほしい主旨のお話が有った為、急遽、別会場を探す必要が生まれた。幸い二葉公民館がすぐに予約できたので、二葉公民館を起点に活動を継続できた。
- *公民館は、3か月前でしか予約を受け付けて貰えないので、時々、部屋が取れない事も有り、段原公民館も利用する事になった。
- *公民館は、教材・絵本・遊具を置くロッカーが無いので、毎回大荷物を運ぶ必要が有り、苦勞している。
- *公民館は会場使用料と、保険料が不要なので、その予算を備品費に回すことが出来た。

◆今後の課題・発展の方向性

- *今後は、学生を中心にボランティア募集を続け、定着させたい。
- *リサイクル工作の指導者が加わったので、もの作り(工作)をリサイクル工作に切り変えたい。
- *パソコンにより子ども向けの教室も、参加者の反応を見ながら、今後何回か開催したい。
- *学生ボランティアが集まれば、学生による企画も実施したい。
- *5月の保育祭りへの参加ができるか、検討したい。
- *公民館祭りに参加して、【みんなの寺子屋】をもっとPRし、参加者を増やしたい。

◆活動を終えての感想・意見等

- *財団法人マツダ財団の支援を頂き、2014年度1年間【みんなの寺子屋】を開催できました。
- *ボランティアや参加者集めが大変でした。スタッフもボランティアと言う事も有り、定着率が悪いのは悩みです。特に、参加者集めは今後の大きな課題です。
- *年度途中で、急に会場の変更を余儀なくされ、マツダ財団事務局の方にもご心配をおかけしました。その後、今年に入って、以前の参加者が再訪され始め、ホッとしています。
- *また何かご縁が頂けます事を楽しみにしています。ありがとうございました。